# 全国都市緑化くまもとフェアの取り組み状況について

資料11

## 【全国都市緑化くまもとフェアの概要】

開催期間：2022年（令和4年）3月19日（土）～5月22日（日）の65日間
主催者：熊本市、公益財団法人都市緑化機構
メイン会場：(街なかエリア)熊本城公園及びシンボルプロムナード一帯
(水辺エリア)水前寺江津湖公園一帯（水前寺地区～広木地区、動植物園含む）
(まち山（立田山）エリア)立田山
パートナー会場：県内全市町村の花・緑の名所、市内各区の地域資源等
目標来場者数：160万人以上
事業費：概ね19億円

## 【メイン会場の展開イメージ】

**➢ 街なかエリア：花緑の魅力・癒しの効果を体感**

例）花畑広場の大花壇、巨大なくまモンの立体花壇
花と灯りの競演“みずあかり”とのタイアップ
花・緑×デジタルアート展　etc

**➢ 水辺エリア：江津湖と向き合い学び楽しむプログラム、今後の公園の利活用につなげる**

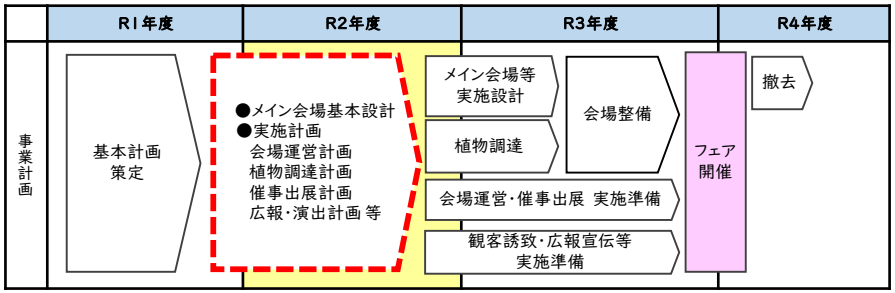
例）動植物園の大花壇
企業や高校生による出展花壇
民間との連携による新たな公園活用プログラム
歴史文学・自然観察ガイドツアー　etc

**➢ まち山（立田山）エリア：熊本の緑の魅力再発見、新たな森の楽しみ方を学ぶ**

例）日帰りキャンプ
森のアスレチック
木育・自然の恵みを生かす体験教室（木工教室・炭焼き体験）etc

## 【フェア開催までのスケジュール】

現在、メイン会場の基本設計や会場運営、植物調達、催事出展等に関する「実施計画」を策定中。11月開催の実行委員会総会にて承認を得たのち、各種準備に移行予定。




## 【動植物園（植物ゾーン）のリニューアルについて】

〈⑥正面ゲートのイメージ〉

**①（仮）水辺のｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ**
**江津湖情報の“集積・発信”拠点**
→江津湖の自然や暮らし・文化の展示
→学習コーナーの設置

**②植物ゾーンエントランス**
**“緑”や“水”を感じる空間**
→樹木を植栽して緑陰を確保
→“水”を感じる施設を設置

**③花の休憩所（温室）**
**“動物”と“植物”の融合**
→温室内に動物を展示、植物の整理
→展示・休憩スペースの充実

**④四季の花木園**
**四季を楽しめる“花・緑”の空間**
→園路の改修
→大花壇・バラ園・梅園の再整備

**⑤展望デッキ**
**江津湖を眺める“ビュースポット”**
→江津湖との一体化
→江津湖と調和したデザイン

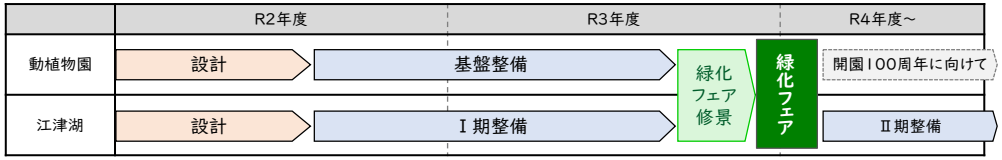
**⑥正面ゲート** ※動植物園が実施
**動植物園の新たな“シンボル”**
→江津湖の美しい景観と調和した外壁
→利便性・快適性・機能性を高めた空間

〈②エントランスのイメージ〉

〈④大花壇のイメージ〉

〈⑤展望デッキのイメージ〉

## 【水前寺江津湖公園の施設改修について】

①トイレの洋式化・バリアフリー化、②照明灯のLED化、③サインの集約・表示の統一、④園路等の改修
※今年度は、トイレの改築（斉藤橋、画図橋、艇庫等）と「水前寺地区（体育館跡地）」と「出水地区（児童公園）」の園路改修等をメインに実施予定

## 【基盤整備のスケジュール】